



佐野真優さん

つきの家

#元ヤングケアラー

#元塾講師



どんな活動をしていますか？

近くで焼肉店を営む従兄弟のサポートを受けながら、2022年8月から駄菓子屋「つきの家」を営んでいます。名前は私の愛犬からとりました。

普通の駄菓子屋と違うのは、地域の支援で成り立っている点です。焼肉店のお客さんや地域の方々に1口千円の「つきチケット」を購入していただき、こどもたちは、そのチケットで1人1日200円までお菓子を買うことができます。

チケットには支援者のニックネームが書かれており、こどもたちは毎回、お礼の手紙を書きます。「今日は運動会で楽しかったです」などと近況を書く子もいて、ちょっとしたコミュニケーションツールになっています。

活動を始めたきっかけは？

もともと近くで学習塾を開いていましたが、移転を兼ねて古民家を購入しました。駄菓子

屋をやってみたいという従兄弟の長年の思いと、コロナ禍でこどもたちの楽しみが減っている現状を何とかしたいという思いが重なり、古民家の一角を改装して地域の人が集える駄菓子屋を開くことになりました。

活動への思いは？

初めの頃は、寄付してくださった方に「何も返せていないのでは」と焦り、こどもたちに丁寧な手紙を書いてもらうことに一生懸命になりすぎていました。でも今は、支援者のみなさまは手紙よりも、この場所が続くことを願って寄付してくださっているのではないかと感じています。

雑な手紙を書いて私に注意された子が、中学卒業後にアルバイト代から寄付してくれたり、店番を手伝ってくれたりします。ここで地域の方の優しさに触れ、「困っている人の力になりたい」と思えるようになってくれたら花丸だと思って、これから

も続けていきたいですね。

こどもたちに向けた、

その他の活動は？

駄菓子屋の奥を自習室として開放しています。

介護の必要な私の母が自習室の近くの部屋にすることがあり、母は同じことを何度も話したり、聞いたりしますが、こどもたちはすぐに慣れ、自然に接しています。

いろんな人がいて、できないことは助け合えば良いということを感じ、その経験をこどもたちそれぞれの未来につなげてほしいです。

支援を始めたいと思っている方に一言お願いします。

“支援”と硬く考えずに、みんなの笑顔や喜ぶ顔を見て自分も元気になることが大切だと思います。あまり“支援”と気負いすぎず、関わってもらえたらうれしいです。



#孫育て世代

#セカンドライフ

登下校見守り

浅野郁郎さん

浅野金己さん



どんな活動をしていますか？

小学生の登下校時に、横断歩道で見守り活動を10年近く続けています。これまで登校日は欠かさず、雨や雪の日も公民館近くの横断歩道に立ち、旗を持ってこどもたちが安全に登校できるよう見守っています。

活動当初は手探りででしたが、できることからしようと、まずはこどもたちが驚かないよう、何気ない自然な言葉をかけることを心がけました。新聞やテレビなどで良いなと思った言葉を参考にしながら、「自転車に乗るときは左側通行で、ヘルメットをかぶってね」「車に乗るときはシートベルトをしめてね」など、上から目線にならないことを注意しつつ、短い時間で大切なことを伝えています。

活動を始めたきっかけは？

孫が小学校に入学したことをきっかけに、2016年の4月から今の活動を始めました。

孫だけでなく、地域のこどもたちが安全に学校に通えるようにとの思いがあります。命は一つしかありませんから、こどもたちにはその命を大事にしてほしいんです。その思いが強いからこそ、今も活動を続けているんだと思います。

活動への思いは？

こどもたちが学校から元気に帰ってくると、ほっとします。それが一番のやりがいです。こどもたちのにこにこした笑顔や元気な様子を見ると、私も幸せな気持ちになり、続けてきて本当に良かったと思います。

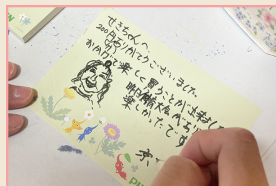
旦那様（浅野郁郎さん）も途中から活動を手伝うようになりましたね。

郁郎さん 私自身は元々、岐阜南地区交通安全協会での活動をしていました。妻が小学生の見守り活動を始めた当初は、大変なことを始めたなと思いま

したが、楽しんでいる姿を見ると続けてきて良かったんだと感じます。妻はこの活動を生きがいにしています。だから元気をもらえているんでしょうね。

支援を始めたいと思っている方に一言お願いします。

自主的に取り組む活動ですので、見返りを考えないことが大事だと思います。やってみてください。こどもから自然に「ありがとう」と言われるとうれいんですから。



この支援に関わりたい！

主な活動場所 本巣市三橋鶴舞25

問い合わせ 佐野真優さん TEL:070-8989-5505

支援のカタチ

駄菓子屋の運営および福祉施設などでの出張販売、駄菓子屋での学習支援、こども食堂



この支援に関わりたい！

主な活動場所 各地域の小学校周辺

問い合わせ 各小学校・地域支援団体等にご相談ください。

支援のカタチ

小学校の登下校見守り

前平 美由紀さん

こども食堂×にこぺこぐう

#保育士

#他県出身

どんな活動をしていますか？

2022年から山県市の古民家で、第1・3水曜日の午後4時～午後8時にこども食堂「にこぺこぐう」を開いています。オープンの日には予想を超えて、100人を超える人たちが来てくれました。

こどもからお年寄りまで参加でき、地域の食材を使った昔ながらの料理を提供しています。こども食堂をきっかけに、野菜好きになるこどもが増えたり、こどもたち自ら食事を運んだり、野菜を洗ったりとお手伝いをしてくれ、自然と気配りのできる子に成長していると感じます。

今ではアートバルーンや、マンドリン演奏など、ちょっとした催し物もしています。

活動を始めたきっかけは？

コロナ禍で人との交流が制限され、こどもが家の中だけで過ごさなければいけない状況

になったとき、そんな生活は無理だと思いました。そこで、コロナ禍が収まったら、みんなで元気に集まれる場をつくろうと決めました。

当初は自宅で料理を振る舞っていたのですが、集まる人数が増え、活動の幅を広げようとしていたときに、大きな古民家を紹介してもらいました。地域の大工の方に古民家を修繕してもらい、地元の人たちから家財や食器を寄付してもらうなどして助けてもらいました。山県市からも活動を応援してもらい、補助金で必要な物をそろえることができました。地域の人たちの多くの協力があったおかげで、こども食堂を開くことができました。

活動への思いは？

大人とこどもの楽しい交流が生まれる場にしたいです。親子で一緒に来てほしいし、年配の方には活動に力を貸してもら

いたい。私は元々、静岡県出身で、結婚を機に山県市に移住しました。3人の子宝にも恵まれましたが、顔見知りのいない環境での子育ては不安でした。そんな中、地域の方々が親身になって協力してくれたのです。山県の人たちの温かさを感じましたし、こどもたちは地域に育ててもらったと思っています。

また、将来的には現在の活動を仕事として成り立たせ、運営をより良くしたいとも思っています。

活動から3年で多くの人が見学にも来てくれるようになりました。興味のある人には、まずはこの場の雰囲気を経験してほしいですね。ここに来れば、自分がやりたいことも分かるのではないかと思います。

田中 綾花さん

#学生ボランティア

#学習支援

どんな活動をしていますか？

岐阜キッズな(絆)支援室は、元教員の若岡代表らが2012年に始めたもので、毎週土曜日に「てらこや無償塾」をお寺で開いています。ひとり親家庭や生活保護世帯などの小中高生30人ほどが来て、支援ボランティアが基本的にマンツーマンで勉強を見ています。

田中さんが活動を始めたきっかけは？

私は2025年11月から携わっています。私もひとり親家庭で、中学生のときには地元・名古屋の無償塾にお世話になりました。

公共施設で偶然、岐阜キッズな(絆)支援室のチラシを見かけ、場所は異なりますが、中学時代の恩返しをしたいと思って学習支援ボランティアを始めました。

平日は中学生向けの塾でアルバイトをしていて、そこの

ノウハウも生かしています。「わかりやすい」と反応してもらえると「少しは役に立っているのかな」と、うれしい気持ちになります。

こどもたちへの思いは？

大人になったとき、この支援室に限らず、どんな形でも構わないので、こういった場を支える立場になってもらえたらと思います。「あのときボランティアが支えてくれた」という思いを力にしてほしいです。

私はこどもの頃、「ひとり親だからかわいそう」と思われることが嫌で、そのことに触れないようにしてきました。そう思われることは今後もあるかもしれませんが、強みにしていければ良いと思っています。

無償塾にお世話になり、そこから興味が広がってボランティアに参加し、若岡代表のようなパワーあふれる方に会うこともできました。こどもたち

から笑顔やぬくもりをたくさんもらっています。こうした経験は、この環境だからこそ得られた大きな強みです。

支援を始めたいと思っている方に一言お願いします。

学習支援ボランティアの場合、自分が学んできた知識で人の役に立てるというやりがいがありますし、自分のためにもなります。相手に説明する力、何につまずいているのかを考える力など、コミュニケーション能力が自然と強化されていくと思います。

私はすでに塾の指導にも生かしています。将来は研究職に就きたいため、わかりやすく説明する能力は、その仕事でも生きていると思います。大学院卒業まで、参加できるときは、力になりたいですね。

代表 若岡さん

ボランティアスタッフの皆さん

岐阜キッズな(絆)支援室



この支援に関わりたい！

主な活動場所 山県市岩佐250-2

問い合わせ InstagramDM @niko.peko.guuu

支援のカタチ

古民家を活用したこども食堂



この支援に関わりたい！

主な活動場所 岐阜市神田町6-24円徳寺 問い合わせ TEL.070-5330-1192

支援のカタチ

小中高生を対象に、大学生や元教員らによるマンツーマンの学習指導「てらこや無償塾」を実施。こども食堂や食料品配布、相談事業、てらこや無償塾の卒業生への奨学金給付なども行う。